

編集後記

「言語と文化、第5号」(通巻32号)をお届け致します。奇しくも本号は21世紀最初の発刊号となるそうでした、従って2世紀にまたがる本誌の過去と未来について様々の思いが去来する方もおられるのではないのでしょうか。このような一応の「節目」にあって、室員各位とともに本誌の益々の充実を期したいと願う次第であります。

「論文」「研究ノート」「翻訳」が毎号の中心内容となっておりますが、これら以外にも「書評」のコーナーを充実したいと思っています。「書評」と言っても、余り固く考えず、昨今皆さまが読まれた言語学・文学・文化論・各語系語学書などのうち、ぜひ他の室員にも紹介して一読をすすめたい研究書、論文、一般書を、比較的短かくまとめて「書評」として提出下さい。「語学研究室」という同一集団に所属しているとはいえ、語系が異なり、専攻が異なれば、他の分野について知る機会はほとんどないのが実状ですので、こうした「書評」コーナーは、大いに室員相互の情報として、また研究上の刺激として役立つことと思われるからです。

(名古屋校舎、編集委員)

『言語と文化』 第5号(通巻第32号)

2001年7月 印刷
2001年7月 発行

発行 愛知大学語学教育研究室
〒441-8522
豊橋市町畑町 TEL.(0532)47-4170
〒470-0296
西加茂郡三好町黒笹370 TEL.(05613)6-5621

印刷 (有)三愛企画
